

IV サービスのあり方検討会

1 目的

市内の特定相談支援事業所の相談支援専門員は、権利擁護の視点を大切にし、個別支援の実践とともに社会環境の調整を行い、利用者の意思を決定するための支援をするとともにそのニーズをアセスメントし代弁する役割がある。

この連絡会は、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化、調布市におけるサービスの支給決定の考え方の共有、情報交換等を図り、ひとりひとりの尊厳のある暮らしが満たされる社会を構築することをめざし、よって障害者福祉の増進に資することを目的とする。

2 出席者（開設順）

調布市内の指定特定相談支援事業所（13事業所）の相談支援専門員

- (1) 銀河ケアサービス
- (2) 地域生活支援センター希望ヶ丘
- (3) 相談支援事業所ドルチェ
- (4) ちょうふだぞう
- (5) 調布市福祉健康部障害福祉課
- (6) 調布市子ども発達センター相談支援事業所
- (7) 障害者自立相談支援協会
- (8) 調布市こころの健康支援センター
- (9) 合同会社マーレ相談支援事務所
- (10) シエル相談支援センター
- (11) KIZUNA 相談支援センター調布
- (12) ポコポコ・ホッピング神代団地
- (13) 相談支援事業所だっくす（令和6年8月～）

3 開催実績

第1回 令和6年5月20日(月)

(内容) 自己紹介, 事業所紹介, 今年度の取り組みについて

今年度取り上げたい内容について提案し、昨年度から引き続き深めていきたいことも踏まえ、今年度の取り組みについて検討した。

第2回 令和6年7月8日(月)

(内容) ①安否リスト, 災害時の避難計画について

②調布市障害者(児)地域生活支援拠点連絡会(第1回目)

今年度から、令和元年度の「非常時の地域ネットワークづくりワーキング」で作成したサービス等利用計画と連動した災害時の支援計画を、サービスの支給決定更新時に作

成することになった。運用する中で相談支援専門員が感じたことなどを発言してもらい、共有した。

第3回 令和6年9月9日(月)

(内容) 事例検討会①

児童から成人にサービスが変更になった方について事例提供してもらい、グループに分かれて事例検討を行った。今回は、精神保健福祉士のスーパーバイザーに入ってもらい、さまざまな視点からの助言をいただくことができた。

第4回 令和6年11月18日(月)

(内容) ①調布市日案行動要支援者避難支援プランの改定に係る意見ヒヤリング (福祉総務課)

②調布市障害者虐待防止センターについて

障害者虐待防止センター担当職員より、普段事業所向けに行っている障害者虐待防止研修の内容を話してもらい、虐待防止センターの役割について改めて認識を深めることができた。

第5回 令和7年2月10日(月)

(内容) ①調布市障害者(児)地域生活支援拠点連絡会(第2回目)

②自立支援協議会各ワーキングからの報告

サービスのあり方検討会は、自立支援協議会の専門部会であるので、各ワーキングでの検討内容や今後の取り組みについて直接報告を聞き、普段の支援や地域の現状も踏まえ、意見交換を行うことが必要と考え、今年度は各ワーキングの報告の機会を設けた。

相談支援専門員として、ワーキングでの取り組みを今後の支援の中で活かし、継続していくこともあるので、来年度以降もワーキングでの取り組みを知る機会をつくっていききたい。

4 今後の予定

第6回 令和7年3月17日(月)

(内容) 事例検討会②